

コース委員会議事録

出席者 ・山口 洋児委員長 ・小谷 則夫副委員長 ・渡辺 典之
・可児 隆一 ・遠藤 勝 ・上村 正司
・杉沢キーパー ・河合支配人

平成 29 年 8 月 18 日、第一回コース委員会が開催された。

コース視察後、会議の予定であったが降雨により途中でラウンドは取りやめとなった。

午後三時半頃より自己紹介などを経て会議となる。

議事 1. コース要望について

・コース内救済ネット

4 番・14 番・15 番ホールに設置されたネットは、高さも良い高さのネットで好評である。

他のホールでも検討出来る所は検討する。

・カート道路の補修は進んでいて良い

・ピンクティーについて必要であると判断があったが、工事してまで作る必要はないと思われる。フェアウェイやラフを刈って設置してはどうかとの意見があった。

・ゴールドティーとレディースティーが同じ場所にある所は、女性に厳しいのではないか。出来る限り離すのが望ましいとのこと。

・伐木について

木々が高くなっているのはわかるが、邪魔だから切るというのはどうか。

成長した木を切るのは簡単だが、自然を生かした設計であり、再度育てる事は出来ない事である。枝の多い木は枝打ちする必要がある。

木を切ってスコアを良くするより、ラフ刈りを徹底し短くする等スコアを良くする方法はある。

木を切るのはいつでも出来るので、まずはラフ刈りを行いスコアの出やすいコースとする方が良い。

議事 2. 新規議案について

委員の皆様より大変厳しい意見がゴルフ場に対して出された。

- 1 コースの排水不良箇所 14 18 など改善必要
- 2 コースから見える景色が全くもって悪い (コース間の伐採、下刈り)

- 3 以前に比べると細かい所に目が届いていない (ティー階段、道路わき枕木草刈り)
- 4 ホテル周り、進入路など手入れ不足である
- 5 従業員一人一人の意識が低下しているのでは？
- 6 管理でできないところは他の部署でカバーしたらよいのでは？
- 7 プレイ料金のわりにレストランメニューがあまりにお粗末すぎる
- 8 デイリー郡上と比較されると質感できにも劣ってお客様に敬遠される状況と指摘
- 9 根本的に見直さないと益々お客様が離れる
- 10 管理機械の更新で作業効率、質感アップがあるなら考えないと後がない
- 11 砂入れ作業はコースに非常に良い状態をもたらしているので続けてほしい

以上のような貴重なる意見をいただくにあたり、委員から開催する以上結果を出せるようにして下さいとの要請がありました。

以上